

I 研究の概要

1 研究のねらい

本市においては、「第3期室蘭市学力向上基本計画」を平成29年3月に策定し、本市教育委員会、本市教育研究所、各小・中学校が一体となった取組を推進している。

本研究所においては、「第3期室蘭市学力向上基本計画」で示されている教育研究所の役割に基づき研究主題を設定し、本市の教育課題である「子どもたちの確かな学力」を育む教育研究を推進していくこととした。

2 研究主題

「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた指導の工夫」



主題設定の理由

(1) 「室蘭市学校教育の重点」から

室蘭市教育委員会が示した令和3年度の「学校教育の重点」は、次の4点である。

- | | |
|-----|--------------------------|
| 重点1 | 子どもたちの創造性と可能性を育む学校づくり |
| 重点2 | 子どもたちの学びの環境を整え「確かな学力」を育成 |
| 重点3 | 室蘭に愛着をもち、未来に挑戦する人を育む |
| 重点4 | 健康・安全教育の推進 |

このうち、「重点2」を本研究所の研究課題と結びつけ、その課題解決に資する教育研究を推進していく。

(2) 本市の子どもたちの実態と課題（全国学力・学習状況調査、標準学力検査の結果）から

全国諸調査で明らかになった本市の子どもたちの実態と課題（下記参照）を踏まえ、これらの課題解決に資する教育研究を推進していく。

【児童の学力課題】



<国語>

- 文の構成の工夫や効果を捉え、適切な内容を取り上げて書くこと。
- 目的に応じて必要な情報を的確に捉え、自分の考えを明確にしながらか読むこと。

<算数>

- 数量の関係を正しく理解し、発展的に考察し、数学的に表現すること。
- 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈すること。
- 資料の特徴を複数の観点で捉えて、正しく情報を読み取ること。
- 日常生活の問題の解決のために、複数の情報を関連づけて論理的に考察し、判断の理由を説明すること。

【生徒の学力課題】



<国語>

- 漢字を正しく書くこと。
- 文の成分の順序や照応に注意して書くこと。
- 目的に応じて話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら話すこと。

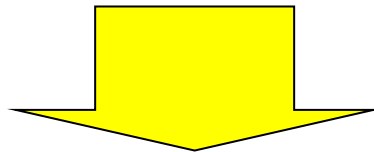
<数学>

- 情報を整理分析し、事象の起こりうる確率を求めること。
- 筋道を立てて考え、証明すること。
- 事象が成り立つ場合を、根拠を明確にして説明すること。

【児童生徒の学習・生活習慣の実態（課題面）】

<全国平均と比べて>

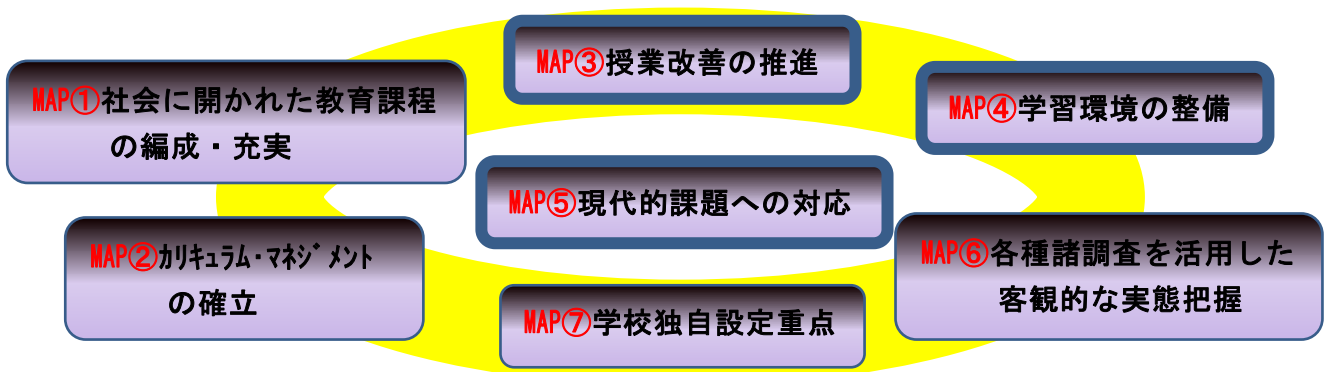
- 日常の読書習慣が身に付いている児童生徒の割合が低い。
- 家庭学習を十分行っている児童の割合が全国に比べて低い。
- 自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合が全国に比べて低い。



- 基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と活用力の育成，学習意欲の向上
- 望ましい学習習慣・生活習慣の確立，学習環境の整備，学習規律の徹底
- コミュニケーション能力の育成

(3) 「第3期 室蘭市学力向上基本計画」から

【各学校における取組 M.A.P (室蘭アクションプロジェクト)】



上記の各学校における取組のうち本研究所においては、主に MAP③「授業改善」や MAP④「学習環境づくり」、MAP⑤「現代的課題への対応」に焦点を当てて調査・研究を進めるとともに、それらの研究成果を市内各小・中学校に対して情報還元・環流を図っていくこととする。

【学力向上基本計画における教育研究所の役割（5か年の計画全体を通じて）】

- ① 主体的・対話的で深い学びに係る研究推進
 - 研究所員による研究推進，調査研究
 - 研究所員による研修講座，公開授業研究会の実施
- ② ICT活用に係る研究推進
 - 研究所員による研究推進，調査研究
 - 研究所員による研修講座，公開授業研究会の実施
- ③ 道徳教育に係る研究推進（1～3年次）
 - 道徳教育に係る研究推進，調査研究
 - 研究所員による研修講座，公開授業研究会の実施
- ④ 外国語教育に係る研究推進（1～3年次）
 - 外国語教育のモデルカリキュラムの作成
 - 外国語教育に係る研究推進，調査研究
 - 研究所員による研修講座，公開授業研究会の実施
- ⑤ 今日的な課題に係る研修講座の開催
 - 各小中学校への情報の還元・環流，教職員の研修促進

上記の教育研究所の役割に資する研究を推進していく。研修講座や公開授業研究会については、校務の多忙化や若手教員の育成等、各学校の今日的な課題に対応した運営方法を検討する。

3 研究内容

令和2年度までの活動の反省を受け、令和3年度からは、「授業づくり」・「ICT活用」の2つのテーマに特化するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また研究所の活動自体を先進実践事例とするため、所員会議や研修講座等においては、オンラインやオンデマンド等ICTの積極的な活用を図った。また、公開授業研究会の開催を必須とせず、各グループの研究方針に合わせた柔軟な公開方法を用いることとした。

(1) 研究部

研究テーマ「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた指導の工夫・改善」

【授業づくりグループ】

- 研究課題



「『主体的な学び』『対話的な学び』『深い学び』のある
指導工夫と指導実践」

- 構成員～副所長（市内教頭1），所員4名（小2，中2）
- 研究内容
 - ・「関心や興味を高める」「見通しをもつ」などの「主体的な学び」が見られる指導の工夫
 - ・「互いの考えを比較する」「思考を表現に置き換える」などの「対話的な学び」が見ら

れる指導の工夫

- ・「知識技能を活用する」「知識技能を習得する」などの「深い学び」が見られる指導の工夫

- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）が作成した「実現したい子どもの姿ピクトグラム」を活用した「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の具体化と、それらを活かした授業づくりに関わる、動画クリップ研修資料の制作と公開

研修講座1：「主体的な学び～自分と結びつける」令和4年1月27日（木）公開

研修講座2：「対話的な学び～先哲の考え方を手掛かりとする」

令和4年3月2日（水）公開

【ICT活用グループ】

- 研究課題



「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

- 構成員～主任所員（指導主事1），所員5名（小3，中2）

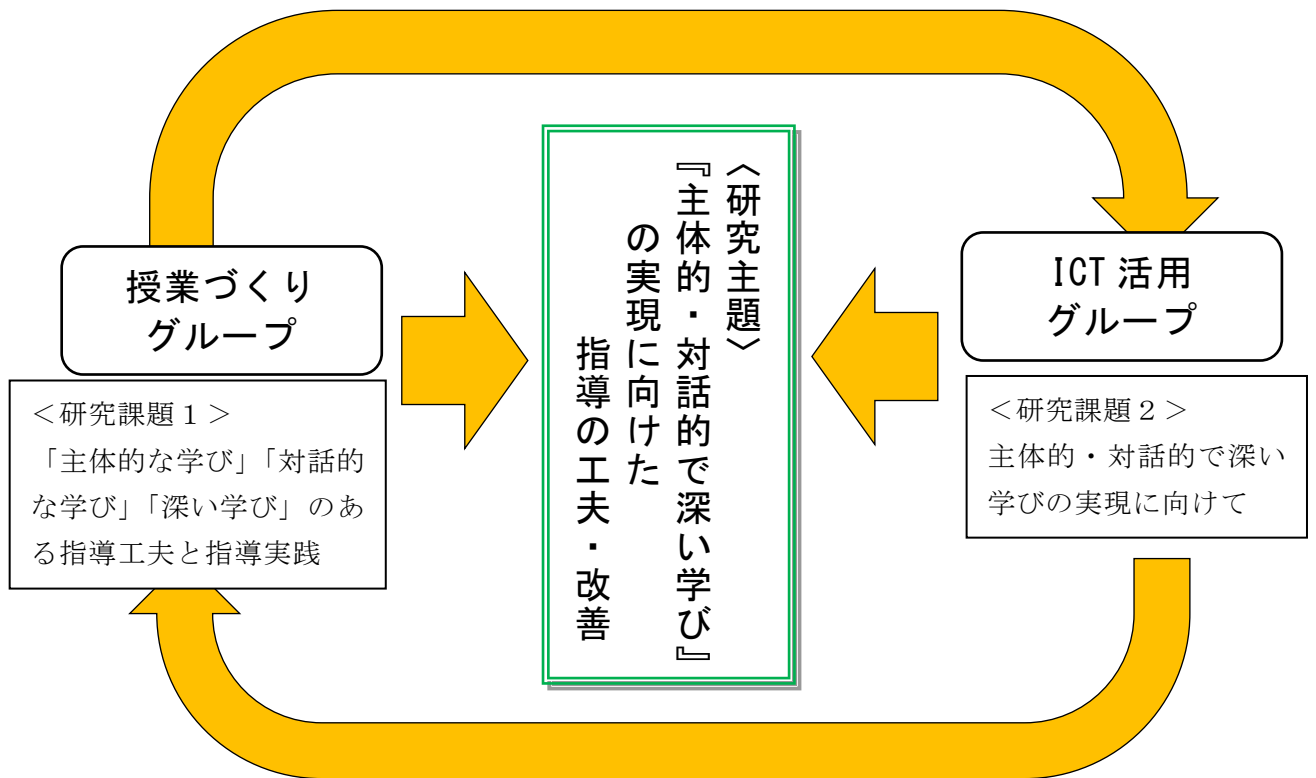
- 研究内容

- ・日常的な授業を通じた端末活用実践の開発
- ・実践を紹介する場の設定
- ・「ICT活用交流サロン」の周知

- 1人1台端末の活用促進を目的とした、Google Classroomによる「室蘭市ICT活用交流サロン」の開設

「室蘭市ICT活用交流サロン」 令和3年10月7日（木）開設・公開

4 研究の構想 ～5年継続研究の4年次ビジョン～



○主な研究内容

<授業づくりグループ>

- ・「関心や興味を高める」「見通しをもつ」などの「主体的な学び」が見られる指導の工夫
- ・「互いの考えを比較する」「思考を表現に置き換える」などの「対話的な学び」が見られる指導の工夫
- ・「知識技能を活用する」「知識技能を習得する」などの「深い学び」が見られる指導の工夫

<ICT活用グループ>

- ・日常的な授業を通じた端末活用実践の開発
- ・実践を紹介する場の設定
- ・「ICT活用交流サロン」の周知

5 研究の推進計画

- 第3期学力向上基本計画に合わせ、平成30年度より5年計画で研究を推進する。
- 研究の手順を明らかにするため、P【計画】→D【実施】→C【評価】→A【改善】のマネジメントサイクルの視点を重視し計画する。
- 3年次の研究の終了時（新学習指導要領全面実施を見据えて）に、教育の情勢や教育における新たな課題を受け、研究内容の見直しを図る。

研究年次	1年次 (平成30年度)	2年次 (平成31年度) (令和元年度)	3年次 (令和2年度)	4年次 (令和3年度)	5年次 (令和4年度)
学習指導要領移行スケジュール					
Plan【計画】	<input type="checkbox"/> 研究課題の把握 <input type="checkbox"/> 研究主題の設定 <input type="checkbox"/> 研究仮説の設定 <input type="checkbox"/> 研究内容の具体化 <input type="checkbox"/> 検証計画の樹立	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し <input type="checkbox"/> 研究仮説の修正 <input type="checkbox"/> 検証計画の樹立	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し <input type="checkbox"/> 研究仮説の修正 <input type="checkbox"/> 検証計画の樹立	<input type="checkbox"/> 研究課題の把握 <input type="checkbox"/> 研究主題の設定 <input type="checkbox"/> 研究仮説の設定 <input type="checkbox"/> 研究内容の具体化 <input type="checkbox"/> 検証計画の樹立	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し <input type="checkbox"/> 研究仮説の修正 <input type="checkbox"/> 検証計画の樹立
Do【実施】	<input type="checkbox"/> 検証のための実践	<input type="checkbox"/> 検証のための実践	<input type="checkbox"/> 検証のための実践	<input type="checkbox"/> 検証のための実践	<input type="checkbox"/> 検証のための実践
Check【評価】	<input type="checkbox"/> 研究結果の整理 <input type="checkbox"/> 初年度のまとめ <input type="checkbox"/> 成果と課題の発表	<input type="checkbox"/> 研究結果の整理 <input type="checkbox"/> 研究のまとめ <input type="checkbox"/> 成果と課題の発表	<input type="checkbox"/> 研究結果の整理 <input type="checkbox"/> 研究のまとめ <input type="checkbox"/> 成果と課題の発表	<input type="checkbox"/> 研究結果の整理 <input type="checkbox"/> 初年度のまとめ <input type="checkbox"/> 成果と課題の発表	<input type="checkbox"/> 研究結果の整理 <input type="checkbox"/> 研究のまとめ <input type="checkbox"/> 成果と課題の発表
Action【改善】	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し	<input type="checkbox"/> 次の研究の方向性確認	<input type="checkbox"/> 推進計画の見直し	<input type="checkbox"/> 次の研究の方向性確認